

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月30日

計画の名称	静岡市の通学路の安全を守るみちづくり（第3期）（防災・安全）												
計画の期間	令和05年度～令和08年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	静岡市												
計画の目標	静岡市通学路交通安全プログラムにて抽出された通学路危険箇所の対策を推進することによって、児童が安心・安全に通学できる道路環境を整備する。 静岡市自転車走行空間ネットワーク整備計画に基づく自転車走行空間の整備を推進することによって、自転車利用者が安全・快適に移動できる道路環境を整備する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6,110	A	6,110	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R8末
1	静岡市内の通学路における歩行者の交通事故発生件数を毎年1%減少させる。 静岡市内の学校指定通学路（市立小学校）における歩行者事故発生件数 R8年歩行者事故発生件数=R3歩行者事故発生件数×0.96	119件	件	114件
2	静岡市内における自転車関連事故発生件数を毎年3%減少させる。 静岡市内における自転車関連事故発生件数 R8年自転車関連事故発生件数=R3自転車関連事故発生件数×0.88	831件	件	731件

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
静岡市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A01-10・A01-11																

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府 県道	交安	(主) 静岡清水線交通安 全対策事業 鳥坂	歩道整備 L=1.20km	静岡市	■	■	■	■		130		—
	A01-002	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府 県道	交安	(主) 静岡清水線交通安 全対策事業 大内	歩道整備 L=1.20km	静岡市	■	■	■	■		1,100		—
	A01-003	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府 県道	交安	(一) 平山草薙停車場線 交通安全対策事業 東瀬 名町	歩道整備 L=0.72km	静岡市	■	■	■	■		850		—
	A01-004	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	市町村 道	交安	(市) 丸子新田広野三丁 目線交通安全対策事業 下川原	歩道整備 L=1.00km	静岡市	■	■	■	■		200		—
	A01-005	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	市町村 道	交安	(市) 丸子新田広野三丁 目線交通安全対策事業 東新田	歩道整備 L=0.14km	静岡市	■	■	■	■		100		—

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-006	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	市町村	交安	(市) 丸子新田広野三丁目線交通安全対策事業 広野	歩道整備 L=0.35km	静岡市	■	■	■	■		500		—
	A01-007	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	市町村	交安	(市) 高橋三丁目下野北線交通安全対策事業	歩道整備 L=0.20km	静岡市	■	■	■	■		600		—
	A01-008	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	市町村	交安	自転車走行空間ネットワーク整備事業	自転車走行空間ネットワーク整備 L=86.2km	静岡市	■	■	■	■		700		—
A01-009	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	市町村	交安	通学路等歩行空間整備事業	路肩カラー化・交差点等安全対策 L=25.0km	静岡市	■	■	■	■		400		—	
A01-010	街路	一般	静岡市	直接	静岡市	S街路	改築	(都) 宮前岳美線 4	歩道整備 道路改築 L=0.61 km	静岡市	■	■	■	■		1,230		—	
A01-011	街路	一般	静岡市	直接	静岡市	S街路	改築	(都) 東町大岩線 1 (北)	歩道整備 道路改築 L=0.14 km	静岡市	■	■	■	■		300		—	

事前評価チェックシート

計画の名称： 静岡市の通学路の安全を守るみちづくり（第3期）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画（社会資本整備重点計画、静岡市総合計画等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
2) 静岡市のみちづくりと合致している。	○
I. 目標の妥当性	
4) 各種事業計画が策定され、適合している。	○
I. 目標の妥当性	
5) 各種法令（道路法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性	
地域の課題と整備計画の目的の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 指標・数値目標がわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が確認されている。（事業執行により、計画書掲載指標を代表とし効果が得られる。）	○
III. 計画の実現可能性	
1) 長期的収支計画の見直しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性	
2) 事業実施のための市民等合意形成が図られている。（静岡市のみちづくり策定の際、市民意見提出手続きを実施）	○

(記載例) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	静岡市の通学路の安全を守るみちづくり (第3期) (防災・安全)	交付対象	静岡市
計画の期間	令和5年度 ~ 令和8年度 (4年間)		

○自転車走行空間ネットワーク整備事業【市全域】A01-008
○通学路歩行空間整備事業【市全域】A01-009

